

函館市地域包括支援センター社協

(地域包括支援センター運営業務)

令和3年度（2021年度）活動評価

令和4年度（2022年度）活動計画

東部圏域



— 目 次 —

1. 圏域の現状と課題	・・・	1
2. 重点活動	・・・	4
3. 令和3年度活動評価および令和4年度活動計画		
ア 地域包括支援センターの運営	・・・	6
(ア) 総合相談支援業務	・・・	6
(イ) 権利擁護業務	・・・	10
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	14
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	18
イ 生活支援体制整備事業	・・・	22
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	22
ウ 認知症総合支援事業	・・・	26

圏域の現状と課題

1. 人口の推計と年齢構成

(人, %)

	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	R3.9	割合	全市
年少人口	860	801	769	724	670	647	6.2%	9.4%
生産年齢人口	6,125	5,787	5,492	5,135	4,862	4,705	45.2%	54.4%
高齢人口	5,155	5,171	5,182	5,166	5,073	5,052	48.6%	36.3%
(再) 65～74歳	2,324	2,353	2,344	2,380	2,372	2,375	22.8%	17.7%
(再) 75歳以上	2,831	2,818	2,838	2,786	2,701	2,677	25.7%	18.6%

2. 世帯構成 (R3.9)

(世帯, %)

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	1,760	31.8%	25.9%
高齢者複数世帯	997	18.0%	13.1%
その他	2,775	50.2%	61.0%

3. 事業対象者・要支援認定者の状況

(人, %)

	R2.9	R3.9	全市
認定者数	311	329	7,340
認定率	6.1%	6.5%	8.1%
給付実績	146	151	4,634
給付率	46.9%	45.9%	63.1%

4. 介護保険サービス事業所数 (R3.9)

(件)

	事業所数
居宅介護支援等 (※1)	7
地域密着型サービス (※2)	5

※1 居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護事業所の件数

※2 地域密着型サービス事業所 (小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護を除く) の件数

5. 地域の現状・特徴

○人口減少・生産年齢人口の減少により地域の担い手が不足している。また、高齢化・人口減少により空き家も増加し、互助力が低下傾向となっている。

○地域性として、交通の便が悪く、公共交通機関に限りがあり、圏域内には眼科・整形外科・脳神経外科・精神科などの専門医療機関がないため、必要な医療を身近に受ける事ができない地域格差がある。

○外出・活動の場への参加について、移手段が限られていることや移動距離が広いこと、参加しにくい状況である。

1) 医療機関数

(件)

	戸井	恵山	榎法華	南茅部	合計
医科	1	1	1	2	5
歯科	1	1	0	2	4
薬局	1	1	1	2	5

(送迎対応)

- ①杉山クリニック (送迎なし)
- ②恵山病院 (送迎あり)
- ③榎法華クリニック (送迎あり)
- ④南茅部病院 (送迎あり)
- ⑤坂口内科クリニック (送迎あり)

2) 介護保険事業所

(件)

在宅系	戸井	恵山	榎法華	南茅部	合計
居宅介護	0	1	1	1	3
訪問介護	0	0	0	1	1
通所介護	1	1	1	1	4
短期入所	1	1	0	1	3
訪問入浴	0	0	0	1	1
小多機	2	0	0	1	3
看護小多機	0	1	0	0	1

(診療科)

- ①杉山クリニック
内科・消化器科
- ②恵山病院
内科・外科
整形外科 (月2回、木曜日) おおむら整形
眼科 (月1回、月曜日) 本間眼科
- ③榎法華クリニック
外科・消化器科・皮膚科

(件)

入所系	戸井	恵山	楳法華	南茅部	合計
サ高住	2	1	0	0	3
GH	1	1	0	1	3
特養	1	1	0	1	3
介護付有料	0	0	1	0	1

- ④南茅部病院
内科・外科
整形外科(第4 金曜日)
眼科(第4 水曜日)
⑤坂口内科クリニック
内科

※圏域の小規模多機能型居宅介護事業所は、通所、泊まりのサービス提供は行っているが、職員不足により訪問サービスが実施できていない状況で事業所の機能が果たせていない。
本来、サービスを利用することで在宅生活の限界点が高まることが期待されるが、十分な効果が期待できない状況にある。

3) 公共交通機関運行状況(一部路線の全時刻表を全抜粋)

楳法華支所発日ノ浜団地行	日ノ浜団地発函館BC行	南茅部支所発函館BC行
1 10:22	1 06:19	1 07:10
2 14:44	2 08:37	2 08:18
3 18:24	3 10:35	3 11:40
	4 12:59	4 13:55
	5 14:57	5 16:09
	6 16:22	6 17:53
	7 17:56	
	8 18:42	

日ノ浜団地発楳法華支所行
1 10:46
2 13:00
3 15:01
4 18:04

※南茅部タクシー(令和元年10月31日 営業終了)
※第一交通タクシー(令和2年12月1日 運用開始)
運行業者:株式会社ことぶき第一交通、美咲第一交通株式会社
8:00~17:00までは、南茅部病院周辺に常時2台待機して対応。

4) 食品等を扱う店舗(本格的に営業している商店のみ)

(件)

通所型	戸井	恵山	楳法華	南茅部	合計	
路面店	3	1	1	2	7	(戸井:宇美商店、滝山田商店、加藤商店)
移動車	2	3	2	1	8	(楳法華:小林商店)
コンビニ	1	2	0	3	6	※生協かける便を除く
中型店舗	0	1	0	2	3	(函館牛乳・八百屋・ダイシメ・モロイ等)

※大型店舗がなく、衣料・雑貨等の購入が困難。
※生協のとどくくを利用して食料品を購入している方もいるが、購入手続き等を行えない方も多い。
※移動販売で食品を購入するため、購入食材に限られ、惣菜を購入して食べる傾向がある。

5) 生協かける便(移動販売車)運行状況

出発店舗	運行曜日	運行地域
山の手店	火・木・土	函館市恵山町釜谷方面
山の手店	水・金	函館市戸井町原木・弁才方面
山の手店	火・金	函館市汐首方面
山の手店	水・土	函館市瀬田来・原木方面
湯川店	火・木・土	函館市楳法華方面
湯川店	水・金	函館市女那川・日の浜方面
旭岡店	火・木・土	函館市古部町・木直・楳法華町方面
旭岡店	水・土	函館市川汲町・尾札部町方面
旭岡店	火・木・土	函館市川汲町・大船町方面
旭岡店	水・土	函館市川汲町・鹿部町方面
ひとみ店	火・木・土	函館市恵山町御崎方面
ひとみ店	水・金	函館市恵山町古武井方面

6. 日常生活圏域レベルの地域課題の整理に基づく地域課題

優先順位	地域の問題	問題が生じている要因	地域課題
1	精神障がい者を含む家族でSOSを発信できずに問題が複雑化している世帯が増加している	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯単位で問題の重複や複雑化 ・問題意識がない世帯や孤立している家族がある ・周りに知られたくない（家族内で解決使用とする） ・関係機関と連携ができていない（問題の共有が必要） ・表面化したときには、問題が切迫している ・行政機関に相談があっても必要な機関に繋がっていない 	地域住民が異変に気づき相談機関に繋げる事ができる
2	適切な医療受診行動がとれず、気づいた時には重症化している高齢者が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内に専門医がない。 ・バスへの昇降、利用時間帯、バス停までの移動の利便性が悪い・専門医へ繋げても継続受診が困難 ・地域の病院以外へ通院したいが受診が困難 ・家族に気を使い受診を頼めない ・家族の仕事が忙しく支援を受けられない ・独居高齢者は孤立感で認知症の早期受診に繋がりにくい ・病気や痛みに対して我慢強い人が多い傾向がある 	高齢者が健康管理や適切な受診行動をする事ができる
3	偏った食生活により栄養バランスの悪い高齢者が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・近くにスーパーがない ・購入できる食材に限りがある ・食品を扱う店が少なく、圏域外の店に移動する手段がない ・経済的な不安から節約している ・栄養バランスへの認識ある人もいるが、行動が伴わない ・偏った食生活だという認識が少ない ・簡単に食事を済ませる ・食事が不規則（独居、高齢世帯） ・高齢になればなるほど自身の食生活改善への行動変容が難しい 	前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる
4	必要なサービスを受けることができず、在宅生活の継続が困難な高齢者が増えている 高齢者の見守りや支え合いが低下しているため、在宅生活の継続が困難な高齢者が増えている	<ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者を確保できない ・必要なサービスを調整できない（デイサービスの利用回数、ヘルパー利用調整） ・家族が遠方で支援できず、早めに施設入所となる ・家族が漁業をしていると繁忙期支援ができない ・近所の支援が受けられない ・親戚関係のトラブル ・互助力の低下（若い世代の意識低下） ・煩わしい、個人主義 ・近所付き合いが希薄で空き家が多い ・若い世代の取り込みが困難でアプローチが難しい ・若い世代（前期高齢者）は仕事をしているため、周りに目が向かない 	元居高齢者が支援が必要な高齢者を支えることができる

7. そのほか地域の現状やニーズに基づく地域課題

- ・東部圏域内クリニック医師の高齢化により、地域医療の低下が懸念される。
- ・人口減少や高齢化により、空き家が多く景観や衛生面、防犯、家屋の倒壊などの問題が懸念される。

重点活動

番号	地域課題	各業務での取組
1	地域住民が異変に気づき相談機関に繋げる事ができる	<ul style="list-style-type: none"> ①関係機関とのネットワーク構築（事例検討会）、連携強化 ②地域包括支援センターについて出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ③地域住民が異変に気づくことができるよう出前講座や広報紙による広報啓発を実施
2	高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ①健康への意識や予防について出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ②認知症に対する広報啓発や認知症サポーター養成講座を実施 ③小・中学生を対象に認知症サポーター養成講座を実施し、子育て世代の親への理解に繋げる ④東部地域まちづくり懇談会への要望（参加可能であれば）
3	前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる	<ul style="list-style-type: none"> ①前期高齢者向けに栄養教室の開催（調理実習や栄養に関する講話） ②栄養に対する正しい知識について出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ③漁業協同組合女性部等への広報啓発
4	元気高齢者が支援が必要な高齢者を支えることができる	<ul style="list-style-type: none"> ①見守りや支え合いについて出前講座や広報紙による広報啓発を実施 ②地域課題地域ケア会議を活用し、住民ニーズの把握を実施

令和3年度活動評価および令和4年度活動計画

ア 地域包括支援センターの運営

(ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第1号

【目的】地域の高齢者等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価				
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価	
総合相談	○利用者基本情報作成状況 (件, 人, %)				
		R1.12	R2.12	R3.12	
	目標数値	527	537	502	
	作成数	予防給付	69	38	49
		(再)新規	10	1	0
		見守り	8	29	22
		(再)新規	4	19	5
		その他	349	332	331
		(再)新規	101	84	81
	合計(A)	426	399	402	
	(再)新規	115	104	86	
	高齢者人口(B)	5,184	5,093	5,029	
	実態把握率 (A/B)	8.2%	7.8%	8.0%	
	○総合相談対応件数 (件)				
		R1.12	R2.12	R3.12	
実件数	592	603	544		
延件数	699	765	679		
戸井地区	199	207	233		
	28%	27%	34%		
	恵山地区	242	241	223	
		35%	32%	33%	
椴法華地区	44	79	58		
	6%	10%	9%		
南茅部地区	214	237	162		
	31%	31%	24%		
○相談形態内訳（延） (件)					
	R1.12	R2.12	R3.12		
面接	36	42	43		
電話	223	311	184		
訪問	439	410	451		
その他	1	2	1		
○対象者の年齢内訳（実）					
	R1.12	R2.12	R3.12		
65歳以上	588	604	539		
65歳未満	4	1	9		
○定例ミーティング（センターとランチ合同） 毎月開催					
	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係機関が気軽に相談できる体制を維持する。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画していたセンター定例ミーティングの開催については、定例で実施できており、センター職員とランチ職員の引継ぎのタイミングや日常の情報共有について強化が行え効果が伺える。 ・相談対応件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座等の啓発活動が減少したものの、例年とほぼ同等程度の相談となっており、広報紙の全戸配布や関係機関への広報紙の配布も一定程度効果があったと推測される。 ・上記により目標とした相談できる体制について維持できたと評価する。 ・今後については、令和4年4月より地域包括支援センター（以下「センター」という。）の機能が拡充されるため、新たに広報紙の配布先等を増やし、地域住民が異変に気づき相談機関に繋げることができる取り組みを実施することとしたい。 ・また、日常生活圏域レベルの地域課題として、適切な医療受診行動がとれず、気づいた時には重症化している高齢者が多いことや偏った食生活により栄養バランスの悪い高齢者が多いことから、新たな目標として高齢者が健康管理や適切な受診行動ができる、前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができることへ取り組むこととしたい。 				



令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民が異変に気づき相談機関に繋げることができる。</p>	<p>(相談体制の維持・強化)</p> <p>○センターが実施する出前講座のほか、社会福祉協議会（以下「社協」という。）各支所が実施する事業および老人クラブ等の場を活用し、新規相談に結び付ける。</p> <p>○センターが気軽に相談できる窓口であることを周知。</p> <ul style="list-style-type: none">・広報紙の全戸配布、年1回。 <p>※戸井地区：約1,030世帯、恵山地区：約1,500世帯 椴法華地区：約400世帯、南茅部地区：約2,300世帯</p> <p>○関係機関への広報紙の配布。</p> <ul style="list-style-type: none">・新規配布先としてコンビニエンスストアへ設置の協力依頼。・小学校・中学校への設置依頼。 <p>(職員のスキルアップ・ランチとの連携)</p> <p>○センター定例ミーティングの開催。</p> <ul style="list-style-type: none">・センター職員とランチ職員の連携の強化継続として実施。・情報共有を定期的実施することで職員の知識や判断について意識統一を図る。	<ul style="list-style-type: none">・相談対応件数（実・延）・相談形態内訳・地区別相談件数・相談者の続柄内訳・広報紙の発行・広報紙の配布
<p>・高齢者が健康管理や適切な受診行動をすることができる。</p>	<p>○自主活動グループや老人クラブ団体への広報啓発を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none">・活動支援回数・栄養教室開催回数・出前講座回数・広報、啓発回数
<p>・前期高齢者が自分の食生活の問題に気づくことができる。</p>	<p>○高齢者が食生活の問題に気づけるよう栄養教室を開催。</p> <ul style="list-style-type: none">・各自主グループや関係団体等と検討を行い実施する。	

(ア) 総合相談支援業務

事業内容	令和3年度 活動評価				
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価	
ネットワーク構築	○相談者の続柄内訳（延・重複あり）			<p>【活動目標】</p> <p>・連携会議等を通して、関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携を強化し早期対応が行える。</p> <p>【評価】</p> <p>・保健医療福祉連携会議（以下「連携会議」という。）については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会議開催回数が昨年度に比べ減少しているが、調剤薬局や消防署からの相談を受ける機会が増加傾向となっており、連携会議実施の効果が伺える。また、地域密着型事業所との連携については、地域密着型運営推進会議（以下「運営推進会議」という。）を通して連携強化を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、運営推進会議の開催が減少し連携強化についての意見交換等の取り組みができなかった。そのため、運営推進以外の意見交換の場を検討することとした。</p> <p>・上記内容より、目標としていた関係機関との連携の継続については達成できたが、地域密着型事業所との連携については、新型コロナウイルスの影響により運営推進会議開催が書面開催等になったことから一部達成できなかった。そのため、今後も同様の目標とし、運営推進会議が開催が困難な場合、意見交換の機会を設ける取り組みをすることとしたい。</p> <p>・広報紙の新規配布先として、新たにクリニック1箇所、歯科3箇所、薬局2箇所増やすことができ、引き続き新たな設置場所について検討することとしたい。</p>	
	(件)				
		R1.12	R2.12		R3.12
	本人	386	363		299
	家族親族	119	145		207
	民生委員	26	25		24
	町会・在宅福祉委員	2	0		0
	知人・近隣住民	5	6		8
	介護支援専門員	47	67		56
	介護保険事業所	0	2		10
	医療機関	25	41		41
	行政機関	19	27		32
	その他	70	89		8
	○相談内容内訳（延・重複あり）				
	(件)				
		R1.12	R2.12		R3.12
	介護保険・総合事業	224	300		313
	保健福祉サービス	402	416		305
	介護予防	50	28		16
	心身の健康	11	5		25
認知症	13	10	24		
住まい	7	11	29		
権利擁護	4	2	1		
その他	5	11	4		
○保健福祉サービス等利用調整					
①利用調整状況					
(件)					
	R1.12	R2.12	R3.12		
調整件数	340	357	236		
②利用調整内訳（サービス種別）					
(件)					
	R1.12	R2.12	R3.12		
生活援助員派遣	9	8	5		
外出支援サービス	208	244	113		
除排雪サービス	65	57	62		
寝具乾燥サービス	18	14	13		
ショートステイサービス	2	2	6		
緊急通報システム	38	32	31		
○広報啓発活動					
(回)					
	R1.12	R2.12	R3.12		
広報紙の発行	1	1	1		
パンフレット等の配布	40	20	11		
出前講座・講師派遣	25	16	7		
○ネットワーク構築					
①保健医療福祉連携会議開催回数					
(回)					
	R1.12	R2.12	R3.12		
戸井地区	6	3	4		
恵山地区	6	3	3		
椴法華地区	4	3	2		
南茅部地区	5	1	2		

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・連携会議等を通して、関係機関との連携の継続、地域密着型事業所との連携を強化し早期対応が行える。</p>	<p>○連携会議の開催。 ※隔月開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数月～戸井地区（クリニック、薬局、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・偶数月～恵山地区（恵山病院、消防署、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所） ・奇数月～椋法華地区（クリニック、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） ・奇数月～南茅部地区（南茅部病院、薬局2箇所、駐在所、行政支所、東部保健事務所、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所） <p>○広報紙の配布（設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便局：11か所 ・漁業協同組合：11か所 ・金融機関：1か所 ・消防署：3か所 ・駐在所：8か所 ・病院：2か所 クリニック：3か所 ・歯科：5か所 薬局：5か所 <p>上記以外で新たな設置場所について検討。（学校、コンビニエンス等）</p> <p>○民生児童委員協議会定例会、在宅福祉委員会との意見交換を継続的に実施する。</p> <p>○見守りネットワーク事業の実施の際に、民生児童委員（以下「民生委員」という。）との情報共有を密にし、対象世帯の実態把握を実施する。</p> <p>○地域密着型運営推進会議への出席を通して、センターへの早期相談のメリットや相談のタイミングの共有を図る。 また、運営推進会議の開催が困難な場合、意見交換の機会を設け連携を図る。</p> <p>○行政支所市民福祉課との意見交換の機会を設け連携を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク構築回数 ・広報紙の設置箇所数 ・利用調整件数 ・相談対応件数（実・延） ・相談形態内訳 ・地区別相談件数

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】 介護保険法第115条の45第2項第2号

【目的】 高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価													
	実績（実施回数、内容、実施方法等）			活動目標に対する評価										
権利擁護相談 (高齢者虐待・困難事例への対応、 成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する 対応)	○権利擁護相談対応状況			<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係機関から早期に相談が入り、対応が行える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携会議を通し医療従事者から相談が入ることにより支援につながる事ができた。また、新型コロナウイルス感染予防のため連携会議を中止することも多かったが顔の見える関係が構築できていることにより直接医療機関や薬局より相談を受けることも増え一定程度、早期に相談が入るようになったが地域住民からはまだまだ早期相談に至っていないため、目標については、一部達成と評価する。このことから、次年度の目標としては地域住民や関係機関が早期に相談することができるように取り組みを実施したい。 ・家族、親族からの相談内容としては、配偶者、親の認知症状に関する相談が多くすぐに専門医での治療を必要とするケースが多かったため今後も継続した周知を必要とする。 ・身寄りがない、キーパーソンとなる親族が不在など複数の問題を抱えている世帯が増えている傾向が見られるが潜在的に埋もれているケースも見込まれるため今後も地域住民や関係機関への周知を必要とする。 ・広報紙、リーフレットへ掲載、配布を行ったが民生委員や地域住民からの相談はなかった。新型コロナウイルスの影響で見守り活動の減少が見られるが、民生児童委員協議会定例会等開催時等に普及啓発を行っていく必要がある。 ・東部各支所、センターとの役割がお互いに不明瞭で対応が滞るケースがあったため役割を再確認する必要がある。 										
	・対応件数 (件、回)													
		R1.12	R2.12		R3.12									
	ケース数(実)	9	10		15									
	(再)医療と連携あり	6	5		10									
	対応回数(延)	380	230		285									
	・対応事案内訳(実・重複あり) (件)													
		R1.12	R2.12		R3.12									
	高齢者虐待	1	1		2									
	終結数	1	0		1									
	終結率	100.0%	0.0%		50.0%									
	セルフネグレクト	0	0		0									
	成年後見等	2	0		0									
	消費者被害	0	0		1									
	困難事例	7	5		12									
その他	1	4	0											
・相談者・通報者 (人)														
	R1.12	R2.12	R3.12											
介護支援専門員	1	2	2											
介護サービス事業所	0	2	2											
近隣住民・知人	1	1	0											
民生委員	0	0	0											
本人	1	1	0											
家族・親族	2	5	10											
行政	2	1	4											
警察	2	2	0											
医療機関従事者	3	5	8											
不明(匿名を含む)	0	0	0											
その他	1	1	3											
○医療機関とのネットワーク構築														
① 個別ケース支援連携数 31件														
② ネットワーク構築方法														
<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議の開催 ・個別地域ケア会議への招集 ・個別ケース支援での連携 														
③ 連携およびネットワーク構築機関														
<table border="0"> <tr> <td>杉山クリニック</td> <td>市立函館恵山病院</td> </tr> <tr> <td>市立函館南茅部病院</td> <td>椴法華クリニック</td> </tr> <tr> <td>坂口内科クリニック</td> <td>戸井歯科診療所</td> </tr> <tr> <td>椿田恵山歯科クリニック</td> <td>戸井郵便局</td> </tr> <tr> <td>恵山西駐在所</td> <td>市東消防署日ノ浜出張所</td> </tr> <tr> <td>戸井駐在所</td> <td></td> </tr> </table>			杉山クリニック	市立函館恵山病院	市立函館南茅部病院	椴法華クリニック	坂口内科クリニック	戸井歯科診療所	椿田恵山歯科クリニック	戸井郵便局	恵山西駐在所	市東消防署日ノ浜出張所	戸井駐在所	
杉山クリニック	市立函館恵山病院													
市立函館南茅部病院	椴法華クリニック													
坂口内科クリニック	戸井歯科診療所													
椿田恵山歯科クリニック	戸井郵便局													
恵山西駐在所	市東消防署日ノ浜出張所													
戸井駐在所														

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・地域住民や関係機関が早期に相談することができる。</p>	<p>○権利擁護業務に関する出前講座を開催することで、相談窓口としての周知を図り、軽微な事例であっても気軽に相談できる意識付けを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護をテーマにした出前講座を開催する。 ・民生児童委員協議会定例会の場を活用した周知を行う。 ・社協各支所の事業開催時にパンフレットを配布する。 <p>○医療機関へセンターの役割の周知を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の発行及び医療機関への配布依頼を継続する。 <p>○連携会議を継続して開催し対応についてのフィードバックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン、老人クラブでの出前講座を開催する。 ・広報紙に権利擁護についての記事を掲載する。 <p>○ネットワークが構築されている圏域内の各医療機関から、連携会議等の開催などを通して、支援が必要な高齢者の情報を早期に把握する。</p> <p>○成年後見センター、消費生活センター、警察等関係機関からの情報を活用し常に新しい情報を提供することを意識して出前講座を実施する。</p> <p>○老人クラブやサロンなど様々な場を利用して、多くの地域住民に地域の見守りの重要性について、繰り返し普及啓発を行う。</p> <p>○広報紙に権利侵害についての記事を掲載し、各種事業で配布するとともに、幅広い層の住民が入手できるよう、年1回全戸配布する。</p> <p>○圏域内の関係機関との事例検討会を開催し、関係機関との連携強化を図る。</p> <p>○市各支所との意見交換の場を設け、相談内容等の共有を図り、相談内容に応じた連携方法を検討し連携強化を図る。</p>	<p>○権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 ・対応事案内訳 ・相談、対応者内訳 <p>○高齢者虐待対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報件数 ・通報者内訳 ・虐待実件数 ・虐待対応件数(実) ・終結件数(実) ・個別ケース連携数 ・ネットワーク構築方法 ・ネットワーク構築機関 ・高齢者虐待通報者内訳 ・権利擁護にかかる広報啓発回数 ・高齢者虐待、消費者被害、成年後見制度 ・出前講座、講師派遣の依頼機関

(イ) 権利擁護業務

事業内容	令和3年度 活動評価																																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																
<p>権利擁護業務に関するネットワーク構築</p> <p>センター内スキルアップ対策</p>	<p>○高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の開催 (回、件、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>0(1)</td> <td>3</td> <td>0(1)</td> </tr> <tr> <td>参加機関(実)</td> <td>0(1)</td> <td>18</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>参加者数(延)</td> <td>0(4)</td> <td>27</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内はR2.3末時点の実績。</p> <p>戸井圏域 日時：令和4年3月10日 参加機関：クリニック、薬局、行政、居宅介護支援事業所</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待について 「函館市高齢者虐待対応支援マニュアル」を配布 令和3年度の虐待事例についてのケース報告。 高齢者虐待の種類、虐待対応手順について説明 支援を通し、虐待・虐待疑いが見受けられた場合には、センターへ連絡いただくよう周知 <p>○高齢者虐待に関する研修会及び事例検討会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月19日 令和3年度地域包括支援センター職員課題別研修(ライブ配信) 「高齢者虐待対応のプロセス」 令和4年3月22日 高齢者虐待対応研修 (zoom研修) 「セルフネグレクトについて」 <p>○困難事例についてのケースカンファレンス 2件</p> <p>○権利擁護業務にかかる広報・啓発活動</p> <p>・実施回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>成年後見</td> <td>42</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関</p> <p>瀬田来老人クラブ 函館市教育委員会恵山教育事務所 函館市社協恵山支所</p>		R1.12	R2.12	R3.12	開催回数	0(1)	3	0(1)	参加機関(実)	0(1)	18	5	参加者数(延)	0(4)	27	11		R1.12	R2.12	R3.12	高齢者虐待	1	0	8	成年後見	42	0	5	消費者被害	14	1	0	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 権利擁護に関する相談対応について、全職種が協力して対応できる体制を継続する。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 困難事例について、センター内部にてジェノグラムやエコマップを用いて可視化し情報を共有、情報不足の確認や問題を明確化することにより適切な支援につなげることができ、目標は達成できたと評価する。ただし、今後も全職種が協力して対応できる体制を継続することが必要であることから来年度についても継続してスキルアップを図ることができると期待したい。 朝のミーティングにてケースの進捗状況を報告することにより切れ目のない支援を行えるよう継続する。 高齢者虐待についての研修会を実施し事例の振り返り、反省点を踏まえ報告を行った。また、周知を行うことにより関係機関からの通報につなげることができた。 新型コロナウイルスの影響で会場での研修会等は減少したが、オンライン開催により参加し必要な知識の向上に努めることができたと考える。 権利擁護に係る出前講座は、新型コロナウイルス感染予防のため、多人数での開催が中止になった行事等が多く出前講座の回数が減少したが広報紙への掲載、リーフレット配布にて周知を行った。
	R1.12	R2.12	R3.12																															
開催回数	0(1)	3	0(1)																															
参加機関(実)	0(1)	18	5																															
参加者数(延)	0(4)	27	11																															
	R1.12	R2.12	R3.12																															
高齢者虐待	1	0	8																															
成年後見	42	0	5																															
消費者被害	14	1	0																															

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・継続して全職種にて権利擁護のスキルアップを図ることができる。</p>	<p>○権利擁護に関する職員の対応力の維持向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護に関する研修会に参加する。 ・全職種で情報共有を図るとともにケース検討を行う。 (アセスメント、課題の抽出・分析を共有しながら支援の視点を養い、常に問題を共有する場を持ち、ケースの振り返りを行う) <p>○権利擁護相談の内容によって、適切な関係機関と連携し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターとの連携 ・消費者センターとの連携 ・法テラスとの連携 ・行政、障がい分野などの関係機関との連携 ・問題が複雑化しているケースに対し、必要な機関とのつながりを意識する ・必要時は他機関を含めた個別地域ケア会議やカンファレンスを取り入れるよう意識する <p>○高齢者虐待や困難ケースについては、センター内ミーティングやケースカンファレンスを通して支援状況や方向性を確認し、アセスメントの強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待、困難事例成年後見制度、消費者被害に関すること ・研修会や事例研修会の開催回数と参加機関参加者 ・研修会や事例研修会の参加回数

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価																																																																												
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																																																											
介護支援専門員に対する個別支援	○介護支援専門員への個別支援状況（実） (件)	【活動目標】 ・圏域内の介護支援専門員（以下「ケアマネ」という。）とのパートナー的、横のつながりを意識した関係を維持する。 【評価】 ・ケアマネに対する個別支援については、できる限り指導・指示的ではなく、傾聴・励まし・共感的理解を持って対応しケアマネ自身の気づきが得られるよう努めた。 ・個別支援に至ったケースについては、センター内で共有し支援内容の確認を行い対応策の検討を行っている。 ・圏域のケアマネへアンケートを実施しセンターに期待することとしては医療機関との連携、社会資源の発掘開発が挙げられた。今後、ケアマネの思いを聞き取り掘り下げて参りたい。困難ケースの相談状況についてはセンター及び他の事業所の知り合いへ相談している状況を確認する。（他の事業所の知り合いへの相談は1人居宅介護支援事業所による） ・連携会議（4地区/隔月開催）へケアマネが参加することで多職種連携・情報共有・地域連携などケアマネと関係者がつながり、活動することへの意識づけができた。また、センターで把握した地域の社会資源について自主活動グループなどの一覧を情報提供し周知した。 ・目標としてのケアマネとのパートナー的、横のつながりを意識した関係を維持することができたと評価する。 次年度以降も継続した対応を維持するとともに、専門職と地域の支援者が連携できる取り組みを検討することとしたい。																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケース数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>終結数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>			R1.12	R2.12	R3.12	ケース数	0	2	2	終結数	0	2	2	終結率	0.0%	100.0%	100.0%																																																											
			R1.12	R2.12	R3.12																																																																								
	ケース数		0	2	2																																																																								
	終結数		0	2	2																																																																								
	終結率		0.0%	100.0%	100.0%																																																																								
	・相談者（重複あり） (件)		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		R1.12	R2.12	R3.12	ケアマネ	0	1	1	本人	0	0	0	家族	0	1	1	行政	0	0	0	その他	0	0	0																																																		
			R1.12	R2.12	R3.12																																																																								
	ケアマネ		0	1	1																																																																								
	本人		0	0	0																																																																								
家族	0	1	1																																																																										
行政	0	0	0																																																																										
その他	0	0	0																																																																										
・支援内容 (件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報提供</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支援方針助言</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計画作成助言</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域とのつながり</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ケアマネ変更支援</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		R1.12	R2.12	R3.12	情報提供	0	0	0	支援方針助言	0	1	1	計画作成助言	0	0	0	地域とのつながり	0	0	0	ケアマネ変更支援	0	1	1	その他	0	0	0																																																
	R1.12	R2.12	R3.12																																																																										
情報提供	0	0	0																																																																										
支援方針助言	0	1	1																																																																										
計画作成助言	0	0	0																																																																										
地域とのつながり	0	0	0																																																																										
ケアマネ変更支援	0	1	1																																																																										
その他	0	0	0																																																																										
・支援に至った経緯	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ自身の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 対人援助技術</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 支援の不足</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>対象者の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 認知症による</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 精神疾患による</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 支援拒否</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 不適切な要求</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 気質・性格の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ケアプラン作成過程</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>多職種連携</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>関連制度理解</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療連携</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>家族関係の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業所の問題</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>サービス調整</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域連携・社会資源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		R1.12	R2.12	R3.12	ケアマネ自身の問題	0	0	0	対人援助技術	0	1	1	支援の不足	0	0	0	対象者の問題	0	0	0	認知症による	0	0	0	精神疾患による	0	0	0	支援拒否	0	0	0	不適切な要求	0	0	0	気質・性格の問題	0	0	1	ケアプラン作成過程	0	0	0	多職種連携	0	0	0	関連制度理解	0	1	0	医療連携	0	0	1	家族関係の問題	0	0	1	事業所の問題	0	0	0	サービス調整	0	1	0	地域連携・社会資源	0	0	0	その他	0	0	0
	R1.12	R2.12	R3.12																																																																										
ケアマネ自身の問題	0	0	0																																																																										
対人援助技術	0	1	1																																																																										
支援の不足	0	0	0																																																																										
対象者の問題	0	0	0																																																																										
認知症による	0	0	0																																																																										
精神疾患による	0	0	0																																																																										
支援拒否	0	0	0																																																																										
不適切な要求	0	0	0																																																																										
気質・性格の問題	0	0	1																																																																										
ケアプラン作成過程	0	0	0																																																																										
多職種連携	0	0	0																																																																										
関連制度理解	0	1	0																																																																										
医療連携	0	0	1																																																																										
家族関係の問題	0	0	1																																																																										
事業所の問題	0	0	0																																																																										
サービス調整	0	1	0																																																																										
地域連携・社会資源	0	0	0																																																																										
その他	0	0	0																																																																										

令和4年度 活動計画

活動目標	計 画	評価指標
<p>・ケアマネが他機関の専門職や地域の支援者とながり連携できる。</p>	<p>・連携会議（戸井・恵山・榎法華・南茅部） 「医師・看護師・薬局・東部保健事務所・行政支所・消防・駐在所・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所」において隔月に開催する多職種連携・情報共有・地域連携など圏域のケアマネと関係者がつながり、活動することへの意識づけを図る。また、地域の社会資源について情報提供したものを周知し情報提供する。</p>	<p>・連携会議数 ・個別支援数 ・終結数(率) ・対応方法 ・課題の背景</p>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	令和3年度 活動評価																																											
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																																										
包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築	<p>1 合同ケアマネジメント研修開催状況</p> <p>① 開催日時 会場 1回目 令和3年9月16日（木） 14時～17時 2回目 令和3年9月17日（金） 9時～12時 会場 函館市亀田交流プラザ（講堂） ・テーマ：ICFの考え方を活用し、ケアプランを作成しよう。</p> <p>② 開催回数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1.12</td> <td>R2.12</td> <td>R3.12</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </table> <p>③ 圏域の参加状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業所種別</th> <th rowspan="2">事業者数</th> <th colspan="2">参加事業者数</th> </tr> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護支援事業所</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能居宅介護</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>介護付有料老人ホーム</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>複合型サービス</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14件</td> <td>5件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">参加率 50 %</p>		R1.12	R2.12	R3.12	開催回数	2回	2回	2回	事業所種別	事業者数	参加事業者数		1回目	2回目	居宅介護支援事業所	3件	1件	0件	小規模多機能居宅介護	3件	2件	1件	グループホーム	3件	1件	0件	介護老人福祉施設	3件	1件	1件	介護付有料老人ホーム	1件	0件	0件	複合型サービス	1件	0件	0件	合計	14件	5件	2件	<p>【活動目標】</p> <p>・ICFの考え方を活用したケアマネジメントが実践できるようになる。</p> <p>（合同ケアマネジメント研修）</p> <p>【評価】</p> <p>・研修の開催方法は、従来の会場参加型とZOOMによるウェブ研修の2通りからの選択により開催することとなった。コロナ禍により、感染予防の観点や業務上などから普段参加のない圏域の施設（特養）等のケアマネがウェブにより参加していただけた事は参加拡大に繋がった。ICFについて3年間を通じて学び理解を深める事ができ、多くのケアマネがICFの考え方については理解できたが実践（ニーズ・見通しのケアプランへの反映）での活用は充分ではないとケアマネ自身が自覚することができ、一定程度目標は達成できたと評価する。</p>
		R1.12	R2.12	R3.12																																								
開催回数	2回	2回	2回																																									
事業所種別	事業者数	参加事業者数																																										
		1回目	2回目																																									
居宅介護支援事業所	3件	1件	0件																																									
小規模多機能居宅介護	3件	2件	1件																																									
グループホーム	3件	1件	0件																																									
介護老人福祉施設	3件	1件	1件																																									
介護付有料老人ホーム	1件	0件	0件																																									
複合型サービス	1件	0件	0件																																									
合計	14件	5件	2件																																									
	<p>2 圏域内ケアマネジメント研修開催状況</p> <p>①開催日時、会場 令和4年1月28日（金）15時～16時30分 会場 函館市戸井支所3階大会議室</p> <p>・テーマ ICFに基づくアセスメントと課題整理総括表を活用したケアプランの作成</p> <p>・圏域の参加状況</p> <table border="1"> <tr> <td>参加事業所（圏域）</td> <td>居宅介護支援事業所2、小多機1</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>連携状況</td> <td>訪問リハPTによる助言</td> </tr> </table>	参加事業所（圏域）	居宅介護支援事業所2、小多機1	参加者数	4人	連携状況	訪問リハPTによる助言	<p>（圏域ケアマネジメント研修）</p> <p>【評価】</p> <p>・開催方法は集合研修にて開催したがコロナ禍ということもあり、集合研修を控える事業所が散見され、参加人数が減少したことは否めない状況となった。</p> <p>・内容は合同研修の振り返りとして、ICFに基づくアセスメントと課題整理総括表を活用したケアプランの作成として、事例検討を通じて学びを深めた。圏域の居宅介護支援事業所ケアマネに事例を提供いただき事例を用いて、その人の自立支援に向けた意見交換やリハビリ専門職からの視点での助言をいただき、新たな視点や気づきを得る事ができた。研修を通してICF表は生きること全体を表し、本人を知る上で掘り下げて状態などを把握する上で役立ち、課題整理総括表はニーズを導き出した過程がわかるものとして有効で、自立支援ではその人が主体的に生活できるよう支援する事で本人のしたいこと、できることに目を向けてできなくなっている阻害要因を探り、その解決に向けて対応策を考える事ができた。このことから、合同研修、圏域研修により一定程度目標を達成できたと評価する。</p>																																				
参加事業所（圏域）	居宅介護支援事業所2、小多機1																																											
参加者数	4人																																											
連携状況	訪問リハPTによる助言																																											

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・ケアマネが本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントが実践できるようになる。</p>	<p>○合同ケアマネジメント研修の開催（2回） 〈開催日〉 令和4年10月12日（水） 令和4年10月13日（木） 〈テーマ〉 本人や地域の強みを活かしたケアプランを作成しよう 〈研修形態〉 講義・演習 〈内 容〉 例）・セルフケアやインフォーマルサービスを取り入れたケアマネジメントを実践するためのポイント ・ケアマネジメントとの幅を広げるためのケアマネジャーの視点</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修の開催（1回） 〈開催時期〉 令和5年1月以降 〈内 容〉 合同ケアマネジメント研修の振り返りアンケートの実施</p> <p>○圏域内ケアマネジメント研修のアンケート報告・課題、情報共有</p>	<p>・ケアマネジメント研修開催回数（多職種連携、主任介護支援専門員連携） ・参加数（率）</p>

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法第115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価																													
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																												
<p>個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p>	<p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p> <p>・開催状況 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>133.3%</td> <td>66.7%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開催内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>地区</th> <th>ケース概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>椋法華</td> <td>夫婦共に認知症で、家族は遠方に住み支援が行き届かない。支援拒否・近隣親戚とも関係悪化・孤立しているケース</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>戸井</td> <td>息子と2人暮らしで、息子が近隣とトラブルあり威嚇行為をする。近隣も心配しているが息子の状況から支援介入ができないケース</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>恵山</td> <td>糖尿病増悪するも病識なく独居生活。支援拒否のケース</td> </tr> </tbody> </table>		R1	R2	R3	目標数値	3	3	3	開催回数	4	2	3	達成率	133.3%	66.7%	100.0%	開催月	地区	ケース概要	7月	椋法華	夫婦共に認知症で、家族は遠方に住み支援が行き届かない。支援拒否・近隣親戚とも関係悪化・孤立しているケース	10月	戸井	息子と2人暮らしで、息子が近隣とトラブルあり威嚇行為をする。近隣も心配しているが息子の状況から支援介入ができないケース	10月	恵山	糖尿病増悪するも病識なく独居生活。支援拒否のケース	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職が協働し支援内容を検討する。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域毎隔月で開催している連携会議（地区：戸井・恵山・椋法華・南茅部） 「参集者：医師・看護師・薬局・東部保健事務所・行政支所・消防・駐在所・介護サービス事業所・居宅介護支援事業所など」により多職種連携・情報共有・地域連携ができ関係者がつながり、ネットワークの構築ができ、関係者からの情報を得て個別ケースの検討を行う地域ケア会議へ展開することができ、目標が達成できた。 ・ケースを検討する際、ジェノグラム・エコマップを用い複雑な問題を抱えた対象者及び家族を取り巻く地域の状況や関わりについて、情報共有するために有効であったことから、次年度は高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立支援相談機関と協働し支援内容を検討できる取り組みといたしたい。
	R1	R2	R3																											
目標数値	3	3	3																											
開催回数	4	2	3																											
達成率	133.3%	66.7%	100.0%																											
開催月	地区	ケース概要																												
7月	椋法華	夫婦共に認知症で、家族は遠方に住み支援が行き届かない。支援拒否・近隣親戚とも関係悪化・孤立しているケース																												
10月	戸井	息子と2人暮らしで、息子が近隣とトラブルあり威嚇行為をする。近隣も心配しているが息子の状況から支援介入ができないケース																												
10月	恵山	糖尿病増悪するも病識なく独居生活。支援拒否のケース																												

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・高齢者やその家族の課題について、地域と専門職、さらに自立支援相談機関と協働し支援内容を検討できる。</p>	<p>○地域の関係者から個別ケースを情報収集するためのネットワーク構築 各地域で開催している保健福祉医療連携会議の開催。</p> <p>○個別ケースをセンター内で共有・協議し地域ケア会議の必要性検討及び事例の方向性を検討、また自立支援相談機関と協働及び役割分担しチームで支援内容を検討する。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議の開催 年3回開催（ケース相談に応じ随時開催）</p> <p>○自立支援型地域ケア会議の参加、高齢者の身体的自立に着目し地域と専門職が協働し支援内容の検討を行う。</p>	<p>・開催回数・計画達成率</p> <p>・ケースの概要</p>

(I) 地域ケア会議推進事業

事業内容	令和3年度 活動評価																		
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																	
地域課題の検討を行う地域ケア会議	○地域課題の検討を行う地域ケア会議	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と関係機関が圏域内の地域課題を共有し、地域づくりや地域に必要なと考えられる資源開発により、地域課題を解決するための社会基盤づくりを行う。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の検討を行う地域ケア会議は、戸井地区で計5回実施する計画で進めており、今年度は第4回・第5回開催で最終年までの回となった。地域での困りごと解決にあたっては、生活上の課題（草取り）などは隣近所が支え合って解決していること、体力や筋力の維持については、地域で自主的に取り組まれているグループ・サークル等を紹介する最新版冊子を作る事で、地域が元気で活動している様子をお伝えする機会となった。会議により、地域に新たに集う場所が生まれ参加すること・体操することで元気になり、集まる事で地域がつながり、つながる地域がまちを変えると感じたことから、地域ぐるみで体力や筋力の維持・健康に関心を持つ啓発として「いつでも・どこでも・だれでも」行う事ができる「さわやか潮風ウォーキング」を企画し実施した。今後ウォーキングを推奨し、人と関わる機会が増え交友関係が広がり、地域活動への関心意欲へのきっかけづくりの一助となる事を期待する。目標とした地域課題を解決するための社会基盤づくりまでは達成できなかったが、戸井地区の課題抽出や、会議参加者間での意識醸成については、一定程度達成できたと評価する。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支え合いの地域づくりや地域の見守りなどについて、地域住民の理解者を増やす。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を通じて、地域ケア会議の取り組み記事を掲載し、戸井地区・恵山地区・椋法華地区・南茅部地区へ全戸配布し、地域住民の幅広い層に周知する事ができた。また、社協支所が実施する柏野教室及び教育事務所が実施する恵山ふれあいいきいき大学の出前講座で、地域の見守りについて周知する事ができた。上記により、一定程度目標が達成できたと評価する。地域住民意識啓発には長期的な啓発を要する為、今後も継続的に同様の目標を継続することとしたい。 																	
	・開催状況 (回)																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標数値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>			R1	R2	R3	目標数値	2	2	2	開催回数	2	2	2	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
			R1	R2	R3														
	目標数値		2	2	2														
	開催回数		2	2	2														
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%														
	・テーマおよび主な参加機関 令和3年7月30日（金）戸井支所3階大会議室																		
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>テーマ</td> <td>支え合いの地域づくり（第4回目）</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政</td> </tr> </tbody> </table>		テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）	参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政													
	テーマ		支え合いの地域づくり（第4回目）																
参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政																		
令和3年11月29日（月）戸井支所3階大会議室																			
<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>支え合いの地域づくり（第5回目）</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政</td> </tr> </tbody> </table>		支え合いの地域づくり（第5回目）	参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政															
	支え合いの地域づくり（第5回目）																		
参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政																		
・明確になった地域課題 人口減少や地域の担い手の高齢化により、次世代の担い手不足																			
・地域の強み 資源に恵まれ、高齢者が元気で地域みんなが知り合いで隣近所との行き来もあり、気にかけて支え合いがあり、顔の見える関係があること。																			
・地域の弱み 過疎により人口減少・高齢化・役割の担い手減少・生活の不便さ																			
○戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」の開催 令和3年10月23日（土）																			
○地域ケア会議にかかる広報・啓発活動																			
	(回)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア会議</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		R1	R2	R3	地域ケア会議	0	13	1	地域の見守り	6	0	2							
	R1	R2	R3																
地域ケア会議	0	13	1																
地域の見守り	6	0	2																

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・楸法華地域において現状把握と課題整理、地域アンケートを実施する。</p>	<p>○地域課題の検討を行う地域ケア会議（支え合いの地域づくりのつどい）を開催し、地域の現状と課題を確認・共有し各地域において抽出された課題について、住民自身が課題解決に向けて可能な取り組みを検討する。</p> <p>新たな取り組みの創出だけでなく、地域で既に取り組まれている活動等に光を当て地域の良さを再確認する。また、地域づくりのためには、より多くの住民が地域づくりに参加し、お互いが協力し合い地域のつながりを深めて行く事が重要と考え、地域に愛着を持ってもらうよう意識啓発をする。</p> <p>（到達目標） 地域住民と関係機関が圏域内の地域課題を共有し、地域づくりや地域に必要なと考えられる資源開発などにより、地域課題を解決するための社会基盤づくりが行える。</p> <p>（対象地区） 楸法華地区</p> <p>（開催内容） 現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討計4開催</p> <p>（開催時期）※2カ年にわたり実施予定 第1回目/令和4年10月開催（令和4年度） 第2回目/令和5年2月開催（令和4年度） 第3回目/令和5年6月開催（令和5年度） 第4回目/令和5年10月開催（令和5年度）</p>	<p>・開催回数・計画達成率 ・検討内容</p>
<p>・支え合いの地域づくりや地域の見守りなどについて、地域住民の理解者が増える。</p>	<p>○支え合いの地域づくりや、地域の見守りについて周知を行う。</p> <p>○社協各支所が実施する事業やサロン等の場を積極的に活用し、出前講座や講師派遣を行うことで効果的に周知する。</p> <p>○広報紙に地域ケア会議の記事を掲載し地域住民の広い層に周知を図る。</p>	<p>・地域ケア会議にかかる広報・啓発回数 ・地域の見守りにかかる広報・啓発回数</p>

イ 生活支援体制整備事業

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第5号

【目的】地域における住民主体の助け合い活動を促進する仕組みおよび高齢者の社会参加を促進する仕組みの創出ならびに充実を行う。

事業内容	令和3年度 活動評価																									
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																								
地域のネットワーク構築	<p>○地域のネットワーク構築</p> <p>・ネットワーク構築機関数（R3.12）（機関）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員協議会（方面）</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>職能団体・連協</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ネットワーク構築回数（R3.12）（回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会（開催・参加）</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員協議会定例会</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会定例会</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>保健医療福祉連携会議</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	機関名	機関数	民生児童委員協議会（方面）	0	町会	2	在宅福祉委員会	1	介護サービス事業所	12	職能団体・連協	2	種別	回数	懇談会（開催・参加）	2	民生児童委員協議会定例会	0	地域密着運営推進会議	10	在宅福祉委員会定例会	5	保健医療福祉連携会議	11	<p>【活動目標】</p> <p>・関係機関等と情報共有・連携・協働を図り地域のネットワーク構築を継続する。</p> <p>【評価】</p> <p>・戸井・恵山・樫法華・南茅部地区で定例開催している連携会議を通じて、関係者間の情報共有・サービス提供主体間の連携の体制づくりができ、目標達成できた。今後も継続することで情報共有と連携・協働を図り、ネットワーク構築と強化を図る取り組みを実施したい。</p> <p>【活動目標】</p> <p>・支え合いの地域づくりや地域の見守りなどについて、地域住民の幅広い層に周知することができる。</p> <p>【評価】</p> <p>・戸井地区の第2層協議体（地域ケア会議）「支え合いの地域づくりの集い」は自分たちのまちを「見る」「知る」「つながる」「関わる」「つくる」をテーマに令和2年1月より計5回4ヶ月毎の開催の予定とし実施してきたが、コロナ禍の影響から緊急事態宣言などにより開催延期などもあり、最終的には令和3年11月までの約2年間の期間を要した。話し合いや地域アンケートの実施で地域の現状、地域の強み・弱みなど地域課題を知り、地域の社会資源（インフォーマル）の状況をまとめた一覧を作成し、見て・知り、新たに活動する実践者に参加いただき、実践者との対話によりつながり・関わりを持つ事ができた。活動への思いがある仲間を1人1人と増やし、つながることから始まり住民が助け合い・支え合う事や社会参加することで、人とつながり関わる事の大切さなどの思いを第2層協議体を通じて後押し啓発できたことから、一定程度目標達成ができたことと評価する。また、新たにいつでもどこでもだれでもが行うことができる「さわやか潮風ウォーキング」を企画し実施した。今後、ウォーキングを推奨・実施し、人と関わる機会が増え交友関係が広がり、地域活動への関心意欲へのきっかけ作りの一助となることを期待する。</p>
機関名	機関数																									
民生児童委員協議会（方面）	0																									
町会	2																									
在宅福祉委員会	1																									
介護サービス事業所	12																									
職能団体・連協	2																									
種別	回数																									
懇談会（開催・参加）	2																									
民生児童委員協議会定例会	0																									
地域密着運営推進会議	10																									
在宅福祉委員会定例会	5																									
保健医療福祉連携会議	11																									
第2層生活支援コーディネーター活動	<p>○第2層協議体</p> <p>・開催状況（回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・テーマおよび主な参加機関</p> <p>令和3年7月30日（金）戸井支所3階大会議室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>支え合いの地域づくり（第4回目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年11月29日（月）戸井支所3階大会議室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>支え合いの地域づくり（第5回目）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政</td> </tr> </tbody> </table> <p>○明確になった地域課題</p> <p>（人口減少や地域の担い手の高齢化により、次世代の担い手不足）</p> <p>○戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」の開催 令和3年10月23日（土）</p>		R1	R2	R3	開催回数	2	2	2	テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）	参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政	テーマ	支え合いの地域づくり（第5回目）	参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政									
	R1	R2	R3																							
開催回数	2	2	2																							
テーマ	支え合いの地域づくり（第4回目）																									
参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政																									
テーマ	支え合いの地域づくり（第5回目）																									
参加機関	町内会・民生委員・ボランティア・老人クラブ・介護サービス事業所・社協・行政																									

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>楸法華地域のネットワーク構築関係機関の新規開拓及び関係機関等との情報共有・連携・協働を図り、ネットワーク構築を継続する。</p> <p>・支え合いの地域づくりや地域の見守りなどについて、地域住民の幅広い層に周知することができる。</p>	<p>(目的) 生活支援サービスを担う多様な関係者等と連携し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図る。</p> <p>○地域におけるネットワーク構築のため各種関係機関の新規開拓。 (寺・学校など)</p> <p>○戸井・恵山・楸法華・南茅部地区で開催している連携会議で各専門職・関係機関との情報共有及び連携・協働を図りネットワークの構築を図る。</p> <p>○見守りネットワーク事業や出前講座・広報配布を通じて、既に連携している関係機関との継続的なネットワーク構築を図る。</p> <p>○楸法華地区にて開催する第2層協議体（地域ケア会議）「支え合いの地域づくりの集い」において、地域課題やその解決に向けた取り組み、地域住民が目指す地域のあり方について検討する。</p> <p>・地域の関係職種団体への協力依頼等の働きかけ ・地域のニーズと資源の見える化・問題提起</p> <p>(対象地区) 楸法華地区</p> <p>(開催内容) 現状把握と課題整理・地域アンケート実施・必要な支え合いの検討計4開催</p> <p>(開催時期) ※2カ年にわたり実施予定 第1回目/令和4年10月開催(令和4年度) 第2回目/令和5年2月開催(令和4年度) 第3回目/令和5年6月開催(令和5年度) 第4回目/令和5年10月開催(令和5年度)</p>	<p>・ネットワーク構築回数 ・ネットワーク構築機関</p>

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

事業内容	令和3年度 活動評価																	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価																
<p>第2層生活支援 コーディネーター 活動</p>	<p>○自主グループへの支援</p> <p>①若々体操の会活動支援 1回 { まる元らくらく運動教室が令和2年9月で終了し、自主活動として若々体操が活動し支援協力した。 }</p> <p>②汐首町会 汐首わくわくサロン活動支援 5回 { 令和元年後の健康作り教室開催をきっかけに、サロン活動実施の希望を受け、自主活動に向けた支援を実施した。 }</p> <p>③ほのぼのサロン活動支援 { コロナ禍の影響により活動がほとんどできない状況であった。また、代表者の都合により次年度より活動を終了する意向が示され、終了となる。 }</p> <p>○地域の支えあいや介護予防にかかる広報・啓発活動</p> <p>・開催回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12末</th> <th>R2.12末</th> <th>R3.12末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>38</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>社会資源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関 社協恵山支所</p>		R1.12末	R2.12末	R3.12末	介護予防	38	9	10	地域の見守り	6	0	2	社会資源	0	0	1	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな活動グループへの自主化支援、継続グループへの活動支援。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若々体操の会については、ボランティアが参加者をまとめ運営できており、概ね自主化できたと評価する。ただし、会場の確保や年間予定表、参加者名簿等作成の支援が今後も必要であることから、活動状況を踏まえ適時対応することとしたい。 ・汐首わくわくサロンについては、リーダーが参加者をまとめ活動計画を作成し実施できている。リーダーは活動に不安を抱えているため、開催時に関わりを持ちながら自主活動支援を行っていく必要がある。 ・ほのぼのサロンについては、代表者が活動を終了すると意向を示したため、同様の活動は困難な状況となった。 <p>参加者の多くが老人クラブの参加者であることから、必要に応じて老人クラブに介入し、新たな取り組みができないか検討することとしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記内容から目標は一部達成にとどまっているため、次年度は自主活動グループが継続して活動が行えることを目標とする。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が社会資源を知ることができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新版の社会資源マップを令和3年7月15日に更新し、4支所地区間で他地域での活動を情報共有し周知・啓発を行った。戸井地区では新たにできた自主グループのリーダーや活動内容を地域の方々へ紹介し、地域の方のつながりができた。 ・上記内容より、目標は達成できたと評価する。次年度については、地域住民が地域の支え合いや介護予防について知ることができることを目標としたい。
	R1.12末	R2.12末	R3.12末															
介護予防	38	9	10															
地域の見守り	6	0	2															
社会資源	0	0	1															
<p>住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発</p>																		

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・自主活動グループが、継続して活動が行える。</p>	<p>○自主活動グループに対する活動継続支援（出前講座含む） （戸井地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若々体操の会 ・汐首わくわくサロン ・浜町運動教室 <p>（恵山地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気ハツラツ日ノ浜教室 ・元気ハツラツ恵山教室 <p>（楸法華地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブに介入し、新たに活動できるように働きかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動支援回数 ・栄養教室開催回数 ・出前講座回数
<p>・地域住民が、地域の支え合いや介護予防について知ることができる。</p>	<p>○介護予防への取り組みとして、社会資源マップ（4支所地域で自主的に取り組まれているグループ・サークル等を紹介する冊子）を令和4年度版としてグループ・サークルへ取材し、最新版を更新し、作成して広報・啓発することで他地域での活動の様子を情報共有と介護予防への意識助長を図る。</p> <p>○地域の支え合いや介護予防について、町内会・民生児童委員協議会・在宅福祉委員会・老人クラブ・地域ケア会議・出前講座・外部主催研修・自主活動グループ等に広報紙・リーフレット・パンフレットの配布し普及啓発を図る。</p> <p>○戸井地区「さわやか潮風ウォーキング」事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸井地区第2層協議体（地域ケア会議）「支え合いの地域づくりの集い」の実施結果から、地域ぐるみで体力や筋力の維持・健康に関心を持ち、人と関わる機会が増えたり、交友関係が広がったり、地域活動への関心・意欲へのきっかけ作りの啓発（春・秋）年2回実地 通算3カ年実施予定（初年度は令和3年度実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合いや介護予防に関する普及啓発 ・広報啓発回数

イ 認知症総合支援事業

(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業

【根拠法令】介護保険法第115条の45第2項第6号

【目的】認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症地域支援推進員を中心として、医療・介護等の連携強化等による、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

事業内容	令和3年度 活動評価									
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価								
認知症初期集中支援推進事業	<p>1. 認知症初期集中支援チームとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事例実績なし チーム員会議への出席は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、担当センター以外参集なし <p>○認知症に関する相談内容内訳（延・重複あり）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1.12</th> <th>R2.12</th> <th>R3.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(件)</p>		R1.12	R2.12	R3.12	認知症	13	10	24	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チームへのケース対応はなかったが、総合相談として認知症への相談を受け対応が行えている。次年度以降も認知症初期集中支援チームへのケースがあれば対応し、総合相談対応にて対応できる場合は、これまで通り対応することとしたい。
	R1.12	R2.12	R3.12							
認知症	13	10	24							
認知症地域支援・ケア向上事業	<p>2. 認知症サポーター養成講座の開催 （認知症サポーター養成講座実施に向けて相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月5日：戸井学園へ開催に向けて相談 相談者：校長、教頭、教員 令和3年10月26日：磨光小学校へ開催に向けて相談 相談者：教頭 <p>（開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月9日：えさん小学校 6年生向けに実施 14名 <p>3. 認知症地域支援推進員連絡会参加</p> <p>第1回 令和3年4月22日 参加 第2回 令和3年10月15日 参加</p> <p>4. 認知症ケアパス普及に関して （配布先）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>自主活動グループ柏野教室、ほのぼのサロン</p> </div> <p>5. 認知症カフェの開催 認知症カフェとい茶屋の開催を年2回6月・10月に計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により未実施となった。 主催：たんぼの会 協力：地域包括支援センター社協</p>	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を支える若い世代が、認知症に関する理解を深めることができる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏域内の小学校・中学校での開催に向けて学校へ相談させていただいた。開催に至ったのは、えさん小学校のみであったが、開催のつながりで恵山中学校での開催を次年度実施する予定となっている。継続的に学校側へ相談させていただき、若い世代への認知症に対する周知を進めて行くこととしたい。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の人やその家族が、集い情報共有や支え合いが行える。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催できなかったため、次年度は、感染状況を考慮し開催に向けて取り組むこととしたい。 								

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症の人や家族に早期に関わり対応が行える。</p>	<p>○認知症初期集中支援チームとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームとしての関わりが必要であるケースについては、チーム員として取り組むこととする。 ・チーム員会議への出席 <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や広報紙を通して広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム員会議の開催数 ・認知症に関する相談数 ・広報、啓発回数
<p>・高齢者を支える若い世代が、認知症に関する理解を深めることができる。</p>	<p>○認知症サポーター養成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えさん小学校 学生向けに実施 ・恵山中学校 学生向けに実施 ・その他団体等については随時対応 <p>○認知症サポーター養成講座の開催への打診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南茅部小学校へ開催に向けて相談 ・戸井学園へ開催に向けて相談 <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や広報紙を通して広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催 ・新たに実施した機関 ・広報、啓発回数
<p>・認知症の人やその家族が、集い情報共有や支え合いが行える。</p>	<p>○認知症カフェの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェとい茶屋開催 年2回（6月・10月） 主催：たんぼぼの会 協力：地域包括支援センター社協 <p>○広報啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や広報紙を通して広報啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開催 ・新たに実施した機関 ・広報、啓発回数

(ア) 認知症地域支援・ケア向上事業

事業内容	令和3年度 活動評価	
	実績（実施回数、内容、実施方法等）	活動目標に対する評価
認知症地域支援・ ケア向上事業	<p>6. 多職種研修会開催の企画・準備 打ち合わせ会議 第1回目 令和3年4月22日 第2回目 令和3年5月20日 開催については、令和3年7月を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、効果的な開催とならないため、次年度に開催することとした。</p> <p>7. 認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月21日 世界アルツハイマーデー2021inはこだて開催協力 ・令和3年10月28日～令和3年10月29日 認知症地域支援推進員研修（現任）参加 ・令和4年1月28日 令和3年度北海道チームオレンジコーディネーター研修参加 	<p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアについて、多職種と協働で支援が行える。 <p>【評 価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市担当者、市内地域包括支援センター担当者などで多職種研修会開催に向けて検討を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、次年度に開催することとなっている為、引き続き継続することとしたい。 <p>【活動目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修を受講することで、認知症地域支援推進員として新たな知識を習得し、対応が行える。 <p>【評 価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染拡大の中、集合研修への参加はできなかったが、Webでの開催の研修については参加でき知識向上に努めることができた。コロナ禍での取り組み方法等についても研修にて報告があることから、次年度以降も研修への参加を行い、知識を高め、地域活動へ反映することとしたい。

令和4年度 活動計画		
活動目標	計 画	評価指標
<p>・認知症ケアについて、多職種と協働で支援が行える。</p>	<p>○多職種研修会開催の企画・準備 ・開催に向けての打ち合わせ、協力</p>	<p>・研修開催の企画・準備の回数</p>
<p>・各種研修を受講することで、認知症地域支援推進員として新たな知識を習得し、対応が行える。</p>	<p>○認知症地域支援推進員研修および認知症に関する研修会への参加 ・令和4年度認知症地域支援推進員研修（現任）へ参加 ・その他認知症に関する研修会へ参加</p>	<p>・研修会への参加回数</p>